

# EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBUNNEWS

## NURSE LETTER

2 Month



### チームSTEPPS

～ 研修始めました ～

医療安全対策委員会

A・K



チーム STEPPS は、医療の質、安全、効率を改善するエビデンスに基づいたチームワークシステムであり、チームで事故を防ぐためのコミュニケーションツールとされています。医療事故の約70%がコミュニケーションエラーであり、根本原因のほとんどが、コミュニケーションをはじめとするチームワークの問題です。研修では、チーム STEPPS におけるコミュニケーションツールを紹介しています。現場でツールを活用する事で、コミュニケーションエラーを回避し、チームで安全を守っていく文化をつくっていきましょう !!

また、安全対策委員会では、確認不足によるインシデントが最も多い事から、確認作業時に「6Rで指差呼称」が定着するようタッチアンドコールで6Rの唱和を始めました。皆さん、毎朝「指差呼称での唱和」はできていますか？指差呼称を行うことで、何もしない時に比べ6.2倍以上のミス回避できる事がエビデンスで示されています。毎朝のコールで確認行動時の「6Rで指差呼称」を定着させ、確認不足によるインシデントを減らしましょう。



### 看護相談室開設



この看護師の活躍の場として、看護相談室（旧内視鏡室）がオープンしました。ここで対応している看護師は認定看護師とNST 専門療法士です。今までは病棟での活動が主でしたが、外来へ活動の場を広げ、地域で療養生活を送っている外来患者さんたちに対して、私たちのもっている専門知識や技術がお役に立てるようにしていきたいです。ここでの相談対象は入院・外来を問いませんので、皆様から患者様へ「看護相談室で相談してみても？」とお声掛けいただくと嬉しいです。曜日別の担当は決まっていますが、専門分野以外でも対応いたしますので、お気軽にお電話ください。



曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
担当者 (PHS)	渡部 (1918)	大沢 (1872)	大山 (1748)	加地 (1766)	三浦 (1873)



### 両立支援活動

北7病棟 A・Y

9月から整形外科患者の両立支援が始まりました。北7病棟では現在15名の患者に両立支援カンファレンスを行いました。多職種のスタッフに関わる事で、様々な視点からの支援を行うことができ、患者からも就労と治療の両立に関する希望や不安等話を聞くことができています。今後も入院時から、退院後の仕事や生活を考え日々関わっていききたいと思います。



### ロコモティブシンドローム講演

11/22 薬剤部前ホールにおいてロコモに関する市民公開講座が開催されました。大勢の方が聴かれていて関心の高さを感じました。貴方もロコチェックしてみましょう。一つでも該当すればロコモの疑い。

1. 片脚立ちで靴下がはけない
2. 家の中でつまずいたり滑ったりする
3. 階段を上るのに手すりが必要である
4. 横断歩道を青信号で渡り切れない
5. 15分くらい続けて歩けない
6. 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である
7. 家の中やや重い仕事（掃除機の使用・布団の上げ下ろし）が困難である

